

教育改善提案書

所属学科名 (または所属課又は団体名) 鍼灸サイエンス学科

応募者氏名 (代表者氏名) 宮脇 太朗

1. 提案名	学業的自己効力感向上を目指した他職種連携グループ学習
2. 趣旨・理由を含めた提案内容の概要	<p>日本の少子化は近年加速している一方で、高等教育機関への進学率は上昇傾向にある。そのため、大学進学者をとりまく環境の多様化は進んでおり、中には学びに課題を抱える学生もいる。学びの課題に解決策が見出せない、学習意欲が低下し、学業不振に繋がる。学業不振はさらなる学習意欲低下を招き、悪循環に陥ってしまう。このような構図を作らないためにも、大学における学び方を学生に身につけさせるための仕組みづくりが重要である。小さな成功体験を積み重ねることで、「自分は出来る」という学業的自己効力感が得られると考えられる。そこで、グループ学習を通じて、学生が自身の目指す職業への理解を深め、学業的自己効力感を高めるきっかけを提供したい。</p> <p>現在「医療人底力実践Ⅳ (他学科連携プログラム)」の一案として提案しているゼミテーマの、地域貢献を目的とした多職種連携グループ学習内で、上記を試みることを考えている。ゼミでは、全医療職に共通するテーマである予防医療について、学生が各自の目指す職種において実現可能な取り組みを調査・考察し、その成果を地域の方に報告する場を提供したい。この活動を通して、学業的自己効力感を持ち、地域貢献が出来る学生育成を目指す。</p>
3. 提案の具体的な内容	<p>「医療人底力実践Ⅳ (他学科連携プログラム)」内ゼミテーマとして、計8回講義として考えている (発表含む)。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション：他学科連携の重要性を伝える。プログラム概要を説明する。教員・学生ともに口頭で自己紹介を行う。地域のことを考えることは、相手の気持ちを考えるトレーニングになることを説明し、地域貢献と自らの職業の特性の関連付けを意識させる。</li> <li>2. 自身が目指す職業の特性調査と発表スライド作成：自分の職業の特性を調査し、どのような業務があるのかを調べる。調査内容は、勤務場所、どのように患者・疾患などと向き合っているのか等、活躍のフィールドを調査する。調査は、信憑性のあるウェブサイトや成書、学科教員へのインタビューも許可する。上記の調査内容を元にスライド作成を行う。</li> <li>3. 2. の発表：職業や個人を否定しない条件で質疑応答を行う。司会台本は</li> </ol>

	<p>教員が作成した上で、司会は学生が行う。</p> <p>4. 予防医療と自信が目指す職業の関わりの調査：まず何故予防医療が必要なのかを調査する。「自らが考える予防医療とは何か?」「自分の職業で何ができるのか?」を考えてもらい、自らが目指す職業が具体的に地域の方にどのようなことが出来るのかを考える。上記の調査内容を元にスライド作成を行う。</p> <p>5. 4. の発表：職業や個人を否定しない条件で質疑応答を行う。司会台本は教員が作成した上で、司会は学生が行う。</p> <p>6. ポスター作製：連携して、地域の方にどのような内容を伝えていけばいいのかをグループ学習する。ポスターは1枚とし、構成を考え、ポスターを作成する。</p> <p>7. 発表練習</p> <p>8. 発表：碧鈴祭や地域の集まり等での発表を想定している。</p>
<p>4. 期待できる効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が目指す職業を理解し、矜持を持たせる</li> <li>・学業不振による退学率減少</li> <li>・学業的自己効力感向上</li> <li>・地域貢献を通じた、本学の教育的取り組みの周知</li> </ul>